

夏本番になってきました。夏だというのに雨の日が続いて体も心も何だか元気になりませんね・・・日頃保護者様には手指消毒・マスクなどの徹底、感染拡大の予防を徹底していただき本当にありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大予防のための緊急事態宣言解除後に再度、新規感染者が増えてきており、お子様との外出ができてにくい時代になっております。早く安心して過ごせる時代になってほしいですね。新型コロナウイルスに負けない体と心を作って、園児さん・保護者様・職員全員が笑顔でこの時代を乗り越えられますように、保育園内の洗浄・消毒・掃除など徹底したいと思います。

安全で安心できる保育園を目指して衛生管理を実施してまいります。

6・7月の感染症

アデノウイルス 2名  
ヘルパンギーナ 1名  
溶連菌感染症 1名

前年度より、嬉しい事に感染症が減っております。園児さんの手洗いが本当に上手になっていて感染症が出ても広まらないので看護師として安心しています。引き続き感染予防徹底します。

治りかけは無理をさせず  
しっかり治しましょう！

治りかけによく休むことが大事

子どもは、病気のかかりはじめに急激に体調が悪くなりますが、治りはじめると、スッと回復することがよくあります。「よくなってきたな」と思ったときこそ、休ませることが大事。治りかけに無理をさせると、症状がぶり返したり、体力が十分でないためにほかの感染症にかかったりする可能性が高くなります。

しっかり休ませたほうが、休みが短く済む場合が多いのです。

0～1歳の頃は、感染症にかかりやすく保護者の方も大変ですが、成長とともに体力・免疫がついてきます。



何度もかかる病気は  
意外とたくさんあります

感染症は「一度かかれば二度とかからない」というイメージがありますが、繰り返しかかる感染症は意外とたくさんあります。治りかけの、体力が十分回復していない状態で無理をさせると、再感染などのリスクも高くなってしまいます。

繰り返し  
かかることのある病気

- インフルエンザ
- 溶連菌感染症
- 手足口病
- ヘルパンギーナ

インフルエンザや溶連菌感染症は、繰り返しかかります。また、手足口病やヘルパンギーナは、原因となるウイルスが複数あるため、何度もかかる可能性があります。

しっかり治して、元気に登園しましょう



お薬はしっかり飲みましょう

抗菌薬などは、決められた期間や量を守って飲み切りましょう。溶連菌感染症では、合併症を防ぐ効果もあります。

通園していることを  
伝えましょう

薬によっては、飲むタイミングを朝夕2回に変えることができます。診察の際に、医師に園に通っていることを伝え、相談してみてください。



家で元気で油断しない

園での生活は、家で過ごすより体力を使います。ふだんどおりの園生活が送れるまで、回復したかどうかを見てください。